

「アーヴィングの娘」に登場する「アーヴィングの娘」。

卷之三

卷之三

卷之三

私
よ、
実
羽
日
牛
と
し
て
来
日
し
て
四
年
日
に
な
い

まち。日本に来る前の私は、日本の仕事をほ

と
ん
ど
木
絵
木
が
や
つ
て
く
れ
る
が
ら
竹
簡
单
だ
。

し
た
。
で
す
が
実
際
は
、
職
人
の
仕
事
の
ほ
と
ん
ど

は手作業で、足場や階段を何度も行つたり来

た
り
て
夏
は
洋
大
ら
に
て
冬
は
絵
馬
レ
ト
雪
の
大

ペー パー の 当て方、掃除のやり方を細かく注

意され、何度もやり直しあさせられました。

からいじめられているのがな?と思へた事も

ありました。でも日本語と仕事を覚えていく

た事に気が付きました。細かい所の手をぬか

本の職人の仕事だと教わりました。

私は、フィリピンに帰つたら、今働いている会社のフィリピン支店を作りたいと思つてあります。今の会社にはたくさんの中間や後輩と仕事をしようと思つています。今の会社で働いて、日本の技術やマナーを教えてもらつた後輩たちが、フィリピンに帰つてきてもすぐには仕事が出来し、フィリピンでジャパンクオリティの仕事をすれば、必ず成功できると思つてゐるからです。そして、私ががんばつて成功したら、今の会社の社員旅行をフイリピンにしてもういたいです。今の会社の社員旅行で、いろいろな日本を見せてもうつたので、今度は皆さんを案内して、フイリピンのきれいな海や街を見せてあげたいし、知つてほしいと思つてあります。